

の定番ベストセラー

本誌ベストセラー土鍋

長谷園とsirocaがタッグを組んだ!



過去に行った炊飯器具異種格闘技戦でも、土鍋は炊飯器を超える評価。その時検証した長谷園の製品が電気炊飯器となった

炊飯器よりも高評価でした



似たコンセプトの製品として、バーミキュラの「ライスポット」が挙げられる。こちらは鉄鍋で、未だにカラーによっては入荷待ちという人気だ

先駆者バーミキュラもロングヒット中

バーミキュラ
ライスポット
実勢価格▶8万6184円



siroca
かまどさん電気

発売予定価格▶7万9800円(税抜)

※掲載製品の写真、レビューは最終盤ではないベータ機となります。あらかじめご了承ください

SPEC ●サイズ・質量/W約300xH261xD300mm・7.6kg(土鍋含む)
●消費電力1300W ●操作方式/タッチパネル

土鍋派の皆さんにも朗報です! ハイブリッドな組み合わせが実現しました
ベストセラー土鍋×炊飯器



速報

しっかり炊ける。何より全部自動でやってくれるのが強み

炊飯の難しい土鍋炊きをワンタッチ化するコンセプトは◎

片山真一氏
五つ星お米マイスター



土鍋の手間の1つである本体の乾燥も、ボタン1つで短縮化してくれる



本機のために改良した本物の土鍋を電気調理器にドッキングして使う



本物の土鍋なので、こびりつくご飯粒とデリケートなお手入れ方法はご愛嬌



累計80万台を売り上げる土鍋「かまどさん」を、本機のために成型。あくまでベータ版での検証となったため、何度か炊いてみたところやや水っぽく感じるときもあったが、しっかり炊けたときのもちもち感や、土鍋で炊いたご飯の味は再現できていた。2つのふたで対流を制御するので、吹きこぼれなどは一切ない。味などの微調整はまだ続けられているようで、最終盤でどこまでさらなる機能の上乗せがなされるのかが楽しみである。

土鍋を使ううえでネックとなっていた本体を乾燥させる作業も、ボタンひとつで短縮化に成功した。一方、炊飯は3合炊きの白米普通モードで60分。いわゆる普通の炊飯器と同等の所要時間がかかり、ガス炊きのメリットである超高速炊飯を行うことはできない。価格もなかなか強気だが、土鍋が身近なものになることは間違いない。今年もまた、炊飯器市場が盛り上がりそうだ。

炊飯から乾燥まで土鍋がもっと身近に
昨年から、サイドパーティーの新規参入が続き、盛り上がる炊飯器市場。そこにまたもや、期待の新星が登場した。
今度は「土鍋の電気炊飯器」。ふっくらもちもちご飯をガスで炊くこだわりの家庭で使われていた土鍋を、電気で使用できる代物だ。昨年ブレイクしたバーミキュラの「ライスポット」が「鑄物×IH」だったので、それに近い構造をもった製品である。高コスパが売りの製品が多かったシロカが、土鍋の人気老舗メーカー・長谷園とタッグを組んだ「かまどさん電気」。一番のメリットは、複雑で難しい土鍋炊飯を簡単に行うことができるということだ。今までオーブンで土鍋を使うことを諦めていた家庭や、家事や育児などが多忙で土鍋につきっきりでいられない人も、手軽に土鍋で炊いたご飯の味を楽しむことができる。

今年度は「土鍋の電気炊飯器」。ふっくらもちもちご飯をガスで炊くこだわりの家庭で使われていた土鍋を、電気で使用できる代物だ。昨年ブレイクしたバーミキュラの「ライスポット」が「鑄物×IH」だったので、それに近い構造をもった製品である。高コスパが売りの製品が多かったシロカが、土鍋の人気老舗メーカー・長谷園とタッグを組んだ「かまどさん電気」。一番のメリットは、複雑で難しい土鍋炊飯を簡単に行うことができるということだ。今までオーブンで土鍋を使うことを諦めていた家庭や、家事や育児などが多忙で土鍋につきっきりでいられない人も、手軽に土鍋で炊いたご飯の味を楽しむことができる。